

日本天文学会2022年春季年会のお知らせ

2022年春季年会は、2022年3月2日（水）から3月5日（土）までの4日間、広島大学東広島キャンパスで予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、多くの皆さんにご参加いただくため、今回もオンライン開催といたします。実施方法などの詳しい情報については、年会ホームページを注視していただくようお願いいたします（<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>）。

（1）年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

・料金表

項目	会員	非会員	備考
参加費	無料	無料	参加登録が必要です
講演登録費	3,000円（不課税）	—	（1講演につき）
講演予稿集	2,000円（消費税込み）	2,000円（消費税込み）	

※講演申込をされた方は、以下に記す支払期間内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は、会員4,000円（不課税）の講演登録費をお支払いください。

※クレジットカード会社、金融機関の利用明細をもって、本学会の領収書とさせていただきます。

※講演なしで参加する方は、無料ですが参加登録が必要です。参加登録の開始は1月下旬の予定です。登録方法については、年会ホームページでお知らせいたします。

※講演なしで参加する非会員の方は、年会実行委員会の参加承認が必要になります。委員会の判断により、ご希望に沿えない場合もありますので予めご了承ください。

※オンライン参加の方で、手続きのために参加証明書が必要な方は、参加登録フォームからお申し込みください。年会終了後にメールで送付いたします。なお講演証明書については年会終了後にアナウンスいたします。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会員：講演登録費 3,000円（1講演につき）

※講演予稿集は、予約され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、上記金額に2,000円を足してお支払いください。郵送いたします。また参加のみで講演予稿集が必要な方は、参加登録の際にお申し込みください。郵送いたします。

※お支払いいただいた講演登録費は、原則として返金いたしません。

・支払期間

2021年11月30日（火）～12月14日（火）

・支払方法

●原則クレジットカード支払です。

※決済ページのURLは、講演申込の自動返信メールに記載されています。

※支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス（アナザーレーン）を利用してあります。

※取り扱いカードは、VISA, MasterCard, JCB, AMEX, DINERSの5種類です。

※クレジットカード支払が困難な方は、支払期間内に銀行振込、現金書留でお支払いください。

●銀行振込

銀行名：三菱UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通 4434400

口座名義：シャダンホウジンニホンテンモンガッカイ

※振込人の名前の前に、会員番号（入会申請中の方は入会申請受付番号）をお書きください。

(2) 受付期間

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員（正会員・準会員）に限られております。非会員の方は、講演申込の前に学会への入会申請をする必要があります。詳しくは年会ホームページをご参照ください。

事項	受付期間・期限（日本標準時）	関連項目
講演申込（電子メール）	2021年11月30日（火）正午～12月7日（火）正午	(3), (4), (5) 参照
講演登録費支払期間	2021年11月30日（火）～12月14日（火）	(1) 参照
複数講演の順序指定	2021年12月14日（火）正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2022年2月15日（火）正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー	今回は設置しません	(8) 参照
講演の変更など	わかった時点で直ちにご連絡ください	(9) 参照
特別セッションの企画	2021年11月30日（火）正午まで	(10) 参照
招待講演・特別講演の講演者推薦	※オンライン開催をご了承の上お申し込みください	
正会員用展示ブース	オンライン開催のため開催しません	(11) 参照
旅費一部補助	オンライン開催のため補助はありません	(12) 参照
各種の会合申込	今回は募集しません	(13) 参照
保育室の利用申込	今回は設置しません	(14) 参照
懇親会の申込	今回は開催しません	(15) 参照

(3) 分野と「企画セッション」

- ・講演分野は次の16分野です。

M.太陽, N.恒星・恒星進化, P1.星・惑星形成（星形成）, P2.星・惑星形成（原始惑星系円盤）, P3.星・惑星形成（惑星系）, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.観測機器（電波）, V2.観測機器（光赤外・重力波・その他）, V3.観測機器（X線・γ線）, W.コンパクト天体, X.銀河形成・進化, Y.天文教育・広報普及・その他

- ・「企画セッション」

今回は開催しません。

(4) 講演の形式

- ・a口頭講演（9分間の口頭発表と3分間の質疑応答）；bポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）；cポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。口頭講演は、Zoomを利用します。ポスターはWeb上で公開し、Slackなどの交流の場を用意する予定です。実施方法の詳細は年会ホームページに掲載予定ですので、注視していただくようお願いいたします（<https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>）。
- ・講演者1人あたり可能な講演数は最大3件です。また、a講演は1人1講演まで、3件目の講演はc講演（ポスターのみ）に限ります。

(5) 講演の申込方法（電子メール）

- ・年会ホームページに掲載します。説明をよく読んで申し込みを行ってください。

※郵送による申込は受け付けておりません。

※締め切りは2021年12月7日(火)12:00 JSTを厳守してください。この締め切り日時を過ぎた申請は原則として一切受け付けません。また、締め切り当日のトラブルには対応できない場合もありますので、できるだけ締め切り前日の夕方までに投稿されることをお勧めします。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i) 十分な背景説明を行うこと、(ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずです。以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2022年2月20日付で発行する予定です。年会ホームページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもあります。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際などは、十分ご注意願います。

※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

※講演予稿の「キーワード」は、Y分野以外は、下記のPASJ Keyword listを使用いただきます
ようお願いします。

https://academic.oup.com/pasj/pages/Pasj_Keywords

(6) 複数講演の順序指定

・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号（分野、発表形式を含む番号）、2. 講演者名
- ・講演日時に関する要望は一切受け付けられません。
- ・b講演は2時間のセッションの最後にスケジュールする予定です。順序指定にa講演とb講演が含まれる場合は、b講演を最後に並べてください。ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。

(7) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- ・PDLは、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、通常の講演申込の〆切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人・グループの事情は不可）が必要です。
- ・申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請頂いた内容は年会実行委員会で審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込よりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- ・PDLの講演形式は、原則、cポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）になります。ただし、プログラムに余裕がある場合は、bポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）も可能です。希望する形式を記入してください。
- ・PDLの受付期間を過ぎた後の申請については、年会実行委員会にご相談ください。
- ・日本天文学会年会における発表は、PDLも含め天文学会員に限られているため、非会員の方は天文学

会員になる必要があります。PDLの審査に加え、会員になる手続きにも時間を要しますので、PDL申請を考えている非会員の方は、まず年会実行委員会にお問い合わせください。

(8) 最新情報コーナー

- ・今回は設置しません。

(9) 講演のキャンセルや変更

- ・申し込んだ講演については、年会実行委員会の承認なくキャンセルすることはもちろん、講演者、講演題名、講演著者、講演内容も変更することはできません。
- ・やむをえず講演をキャンセルしたり、登壇者を変更したりする場合は、共著者の承諾を得た上で、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更を希望する理由を添えて、原則講演者が速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理登壇者を立ててください。なお代理登壇者は原則学会員（正会員・準会員）とします。会期中、直前の申し出は承認できない場合があります。
- ・講演申込後に講演をキャンセル等しても、講演登録費の返金は行いません。
- ・講演の申込時に、筆頭著者と講演者を別にすることはできます。筆頭著者は「講演予稿集」の講演者リストの先頭に記され、申込時の講演者は「年会プログラム」で確認することができます。

(10) 特別セッション・特別講演・招待講演

- ・多くの会員が関心を持つ話題について、特別セッションを開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。希望する場合は年会実行委員会にご相談ください。
- ・オンライン開催ですのでご承知おきください。

(11) 正会員用展示ブース

- ・設置しません。

(12) 旅費一部補助

- ・日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。
- ・オンラインの場合、補助はありません。

(13) 年会時の各種会合

- ・募集しません。

(14) 年会会期中の保育室

- ・設置しません。

(15) 懇親会

・開催しません。

(16) 連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: nenkai-committee@asj.or.jp

委員長 古澤久徳（年会実行理事・国立天文台）

電話：0422-34-3562

年会係 田口谷怜奈（日本天文学会）

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

電話：0422-31-5488 FAX：0422-31-5487 e-mail：nenkai@asj.or.jp

年会開催期間（2022年3月2日～5日）の連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会ホームページ <https://www.asj.or.jp/jp/activities/nenkai/>

古澤久徳（年会実行委員長）